

主要な施策の概要

1 一般会計

(1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 情報コーナーの設置	697,166 円	<p>情報公開の総合的推進を図るため、本庁舎2階において情報コーナーを設置し、市政情報等の情報提供・公表するものを配備することにより、市民が自由に閲覧し、コピー機（有料）にて写しを入手できるように整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事 493,500 円 ・複写機借上料 33,461 円 ・備品購入（閲覧用机、椅子、書架等） 170,205 円
2 法律集システム借上	283,500 円	<p>財務会計で使用する庁内ネットワークーを利用し、法律集を各課のパソコンで閲覧、印刷できるようにしたことにより、各課の事務が効率的、効果的になった。</p>
3 市勢統計'01 作成委託	378,000 円	<p>市政各分野にわたる統計数値を収録し、市の現況を明らかにするため、市勢統計'01を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 A4判 本文207ページ ・部数 500部
4 わたしの便利帳 作成委託	4,773,825 円	<p>市役所の窓口案内、各種サービス、公共施設の利用案内等必要な情報を分かりやすくまとめ、全戸配布した。転入者にも市民課を通じ配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 A4判 本文116ページ ・部数 33,000部
5 バランスシート の作成	1,470,000 円	<p>総務省の「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会」の報告書に基づき、平成11年度と平成12年度の普通会計によりバランスシートを作成した。</p>
6 会計事務口座振替 伝送システム導入	126,000 円	<p>従来、支払事務は手書きの口座振替依頼書により処理していたが、財務会計システムの導入により支払情報を ISDN 回線で指定金融機関に伝送できるようになり事務の簡素化・効率化を図った。</p>
7 政策課題別 チームの設置	250,000 円	<p>職員による政策課題別チームを設置し、市の総合計画に基づく政策課題について横断的、総合的に研究、検討するため、研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会講師謝礼 250,000 円 ・実施回数 6回 ・研修テーマ 情報化（2回）・環境・生涯学習・男女共同参画・管理監督者 ・延べ参加人員 413人
8 いっしょに話そう、 まちづくり フォーラム の実施	190,000 円	<p>市民がフォーラムを通じ、市政の実態及び課題について認識を深めるとともに、行政との協働又は役割分担に対する意識を高め、市民参画の促進を図ることを目的として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター及び話題提供者謝礼 190,000 円 ・実施回数 5回 ・分野別テーマ 教育・国際化・都市景観・商工業振興・環境 ・延べ参加人員 176人（職員57人含む。）

事業名等	事業費	内容と成果
9 庁内情報化 推進事業	29,585,688円	<p>1 財務会計執行管理稼働 パソコンによる財務会計システムを稼働することにより、各課における予算編成から、執行管理、決算までの一連の業務を行えるようになり、事務の軽減及び効率化を図った。</p> <p>2 全庁ネットワーク（グループウェア）導入 庁内における情報の共有・蓄積を促進し、それらを活用することにより、行政の効率化を図るため導入した。 なお、これにより例規集、現行法令集の検索も可能となった。</p> <p>3 インターネットアクセス環境整備 最新の様々な情報を積極的に収集し、活用することにより、今後の政策形成、質の高い行政サービスの提供に役立てるため整備した。</p>
10 私立幼稚園等 園児保護者負担 軽減補助金	69,895,100円	<p>私立幼稚園等に在籍する園児の保護者に対して補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 延べ 10,177人 69,133,700円 ・幼稚園類似幼児施設保護者負担軽減補助金 延べ 110人 761,400円
11 幼稚園就園 奨励費補助金	37,342,396円	<p>私立幼稚園の設置者が園児の世帯の所得に応じ保育料等を減免する措置に対して、その減収分を幼稚園に補助することにより就園奨励を図った。 対象人数 566人</p>
12 私立幼稚園児 安全対策補助金	179,760円	<p>市内幼稚園4園の安全対策用品の配備に対し補助金を交付し、園児の安全性の向上を図った。 補助対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドメガホン 4園×3個=133,560円 ・携帯用防犯ブザー 55個 46,200円 (教諭及び事務員各1個配布)
13 テレビ公開番組 誘致事業	450,000円	<p>NHKテレビ公開番組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「NHKのど自慢」 開催日 平成13年7月22日 会場 市民会館 事業費 450,000円 ゲスト 北島三郎、長保有紀
14 収納事務 システム改良等	8,353,380円	<p>滞納管理システム等を活用することにより、事務処理の迅速化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納管理システム改良委託料 4,588,500円 ・滞納管理プログラム使用料 252,000円 ・収納管理プログラム使用料 3,512,880円

事業名等	事業費	内容と成果
15 戸籍証明 広域交付事業	3,920,070円	<p>戸籍証明書は本籍地の窓口以外で交付することはできなかったが、福生市、羽村市、瑞穂町に本籍があり、かつ住所を有していれば2市1町いずれかの窓口で戸籍証明書を交付することができるよう事務環境の整備を行った。</p> <p>事業施行日：平成14年4月1日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR用パンフレット印刷 42,000円 ・回線使用料他 89,040円 ・契印専用職印購入 98,280円 ・ファクシミリ購入 806,400円 ・据付調整委託料 315,000円 ・コンピューター一式購入外 2,569,350円
16 住民基本台帳 ネットワーク システム作成委託	26,174,568円	<p>平成11年8月に住民基本台帳法が改正され、行政事務の簡素化、住民サービスの向上をめざし、全国の住民基本台帳を回線で結ぶ住民基本台帳ネットワークシステムを構築することとなった。当該年度は、平成14年8月の一次稼動にむけ、既存の住民基本台帳システムを改修し、ネットワーク連携のためのシステム整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存住民記録システム改修委託料 18,648,000円 ・据付調整委託料 6,772,500円 ・電算機借上料（平成14年2月12日～3月31日） 491,568円 ・電算機保守委託料（平成14年2月12日～3月31日） 262,500円

(2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 国民健康保険 レセプト点検委託	2,968,000円	<p>医療費適正化の重点対策の一環として、保険者として診療報酬請求明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 195,345枚 ・診療報酬保険者負担総額 A 2,455,725,148円 ・再審査の結果減額された額 B 15,950,916円 ・被保険者一人当たり過誤調整額 C (B/被保険者数) 871円 <p>※被保険者数は、70歳未満の若人年間平均を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過誤調整率 D (B/A) 0.65%
2 国民健康保険事務 システム改良等	9,334,500円	<p>滞納者対策として、滞納管理システム、短期証等システム等の改良を行い、保険証更新時等に「短期被保険者証」を発行し、収納率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納管理システム改良委託料 1,365,000円 ・滞納管理プログラム使用料 73,500円 ・短期証等システム改良委託料 2,940,000円 ・口座振替システム改良委託料 892,500円 ・国保事務プログラム使用料 3,685,500円 ・口座振替納税通知書等システム改良委託料 378,000円

事業名等	事業費	内容と成果
3 高齢者・障害者・ 児童生活実態 調査委託	5,722,500円	<p>高齢者、障害者及び児童の生活状況及び福祉施策に関する需要等を把握し、次期「福生市介護保険事業計画」及び「福生市地域福祉計画」策定の参考とするため、高齢者・障害者・児童生活実態調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果品 福生市高齢者・障害者・児童生活実態調査報告書 ・規格 A4判 214ページ ・発行部数 300部
4 地域福祉推進事業	3,333,000円	<p>市内の非営利団体が実施する福祉サービス等の事業に対し、地域に根ざした安定した運営が確保されることを目的に、移送サービスに要する経費の一部を補助することにより、高齢者、障害者等の在宅福祉サービス等の普及及び拡大を図った。</p>
5 視覚障害者ガイド ヘルパー謝礼	2,229,500円	<p>ガイドヘルパー連絡会を新たに開催し、業務連絡、情報交換及び事例検討等を行なうことにより、事業の充実を図った。</p>
6 上級手話講習会	499,923円	<p>上級の手話講習会を開催し、手話通訳奉仕員を養成することにより、聴覚障害者の情報保障の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習期間 平成13年5月8日～平成14年3月12日 (全40回) ・受講者 15人 ・修了者 12人
7 福生ひまわり 共同作業所 日よけ等設置工事	777,000円	<p>日よけの設置、網戸の取付けを行い、共同作業所の環境整備を図った。</p>
8 老人クラブ物置設置	945,000円	<p>高齢者が生きがいと健康づくりのために行う各種スポーツに使用する用具を収納する物置を、市内10箇所の運動施設等に設置した。</p>
9 在宅介護支援 センター運営委託	52,089,967円	<p>在宅の要援護高齢者等及びその家族等に対し、在宅介護の総合的な相談に応じるとともに必要に応じた保健福祉サービスが受けられるよう関係機関との連絡調整及び実態把握による介護予防を行う在宅介護支援センター事業を、市内の社会福祉協議会及び特別養護老人ホームに運営委託し、要援護高齢者等及びその家族等の福祉の向上を図った。</p>
10 高齢者住宅事業	62,411,314円	<p>地域高齢者住宅計画に基づき、市営住宅及び民間借上住宅に、生活協力員を配置した高齢者住宅を確保し、高齢者が住み慣れた町で安心して生活が営めるよう、新たに民間住宅を借上げるため、平成13年度完成のシルバーピア福生に、建設費の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二市営住宅高齢者住宅 11戸 生活協力員住宅 1戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア熊川）11戸 生活協力員住宅 1戸 ・都営熊川アパート 38戸 生活協力員住宅 2戸 ・市営借上高齢者住宅（シルバーピア福生）18戸 生活協力員住宅 1戸 <p>建設費補助金 28,359,000円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
11 高齢者生活支援 ホームヘルプ サービス事業委託	1,314,310円	介護保険要介護認定の要介護及び要支援に該当せず、在宅において自立支援を必要とする高齢者に対し、家事等の支援を行うことにより、高齢者の福祉の向上を図った。
12 高齢者生きがい 活動支援デイサー ビス運営委託	43,921,969円	在宅において比較的自立した生活ができる高齢者に対し、通所による生きがい趣味活動、日常動作訓練等の各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び心身機能の維持向上を図るとともに、介護予防及び閉じこもり防止に資するため、市内の社会福祉協議会及び特別養護老人ホームに運営委託し、福祉の向上を図った。
13 高齢者生活支援 ショートステイ 事業委託	312,000円	基本的な生活習慣の欠如、対人関係が成立しないなど、社会適応が困難な高齢者に対し、短期間の宿泊により日常生活に対する指導及び支援を行い、要介護状態への進行を予防するため、市内の特別養護老人ホームに事業委託し、福祉の向上を図った。
14 訪問理美容サー ビス事業委託	240,000円	心身の障害及び傷病の理由により理髪店又は美容院に出向く事が困難な高齢者に対し、訪問理美容サービスを提供することにより、高齢者の在宅支援を図った。
15 家族介護者教室	500,449円	高齢者を介護している家族に対し、介護方法等の教室の開催及び家族介護者の交流事業を行うことにより、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図った。
16 高齢者家具転倒 防止装置設置委託	15,388円	日常生活動作の低下した65歳以上のひとり暮らし世帯又は65歳以上の高齢者のみの世帯に家具転倒防止装置を設置することにより、地震等の際に家具の転倒を防止し、高齢者の生命及び財産の安全を図るため、シルバー人材センターに設置委託し、福祉の向上を図った。
17 高齢者自立支援 日常生活用具 給付事業	545,566円	在宅の高齢者に対し、日常生活用具を給付することにより、高齢者の在宅生活における日常動作の容易性を確保し、自立した生活の継続を可能にし、福祉の向上を図った。
18 高齢者自立支援 住宅改修給付事業	2,135,125円	高齢者の居住する住宅の改修に要する費用を給付することにより、高齢者の在宅生活における日常動作の容易性、行動範囲の拡大等を確保し、転倒予防、介護の軽減等を図った。
19 老人医療レセプト 確認事務委託	2,156,000円	医療費適正化の重点対策の一環として、老人医療診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 149,260枚 ・総医療給付額 A 3,376,481,590円 ・再審査の結果、減額された額 B 23,006,070円 ・受給者一人当たり過誤調整額 C (B/受給者数) 4,397円 ・過誤調整率 D (B/A) 0.70%
20 福祉センター地下 ピット改修工事	3,598,350円	福祉センター地階付設作業所奥のピット部屋を、福祉活動用品、ボランティア活動用品及び防災用品を保管する倉庫として利用するため、改修工事を行った。

事業名等	事業費	内容と成果
21 訪問介護利用者負担額助成	10,679,005円	訪問介護を利用する居宅要介護被保険者又は居宅要支援被保険者の低所得者に対し、法施行に伴う利用者負担額の激変緩和の観点から、利用者負担額の一部を助成した。
22 延長保育対策補助金	4,280,000円	<p>保護者の就労形態によって、11時間開所の保育時間を超えて保育を必要とする児童に対し延長保育を実施した保育所に補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育時間 1時間(午後6時から午後7時まで) ・実施日 平成13年11月1日から実施 ・実施保育園 福生保育園・熊川保育園 ・利用人数 35人 ・利用延べ人数 43人 <p>また、公立保育園についても上記のとおり延長保育を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施保育園 すみれ・つくし保育園 ・利用人数 12人 ・利用延べ人数 23人
23 民間保育所修繕費補助金	5,000,000円	<p>福生市社会福祉法人に対する補助金の交付の手續きに関する条例に基づき交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施保育園 福生本町保育園 ・交付内容 園舎床暖房工事 ・工事期間 平成13年4月14日から平成13年6月15日まで ・工事代金 15,950,000円
24 保育園等防犯用品の配備	700,980円	<p>児童の安全確保のため各施設に、防犯用品を配備した。</p> <p>配備用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯用防犯ブザー 278個 ・ハンドメガホン 42台 <p>配備施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園 ・私立保育園 ・児童館 ・無認可保育室
25 児童扶養手当システム導入委託	5,544,000円	<p>児童扶養手当支給事業が、平成14年8月1日に都から事務委譲されることに伴い、システムを導入し、事務環境の整備を行った。</p> <p>システム導入委託料 5,544,000円</p>
26 児童手当事務処理用電話回線設置	256,875円	<p>平成14年度からの児童手当事務報告処理(厚生労働行政総合情報システム導入)に向けて、専用電話回線と備品を設置した。</p> <p>パーソナルコンピュータ他 256,875円</p>
27 児童手当(国制度)支給	178,060,000円	<p>受給者の所得制限限度額を引き上げたことにより、支給対象者が拡大された。</p> <p>平成14年3月末受給者数 2,049人</p>
28 乳幼児医療給付費	98,019,520円	<p>対象乳幼児年齢を5歳未満から6歳に達した日の属する年度末までに改正し、養育者の所得制限限度額を引き上げたことにより、対象者が拡大された。</p> <p>平成14年3月末対象乳幼児数 3,109人</p>

事業名等	事業費	内容と成果
29 休日保育事業	5,001,100円	休日に保護者の就労等で家庭で保育をすることが困難な場合に対応するため、休日保育を実施した。 ・実施保育園 公立福生保育園 ・利用人数 38人 ・利用延べ人数 178人
30 保育園等非常通報体制整備工事	3,935,820円	児童の生命の安全確保のため、各施設に緊急事態発生時に非常ボタンを押すだけで警視庁通信指令室に接続する非常通報装置を設置した。 設置施設 ・公立保育園 4園 ・私立保育園 8園 ・児童館 3館
31 福生・すみれ・つくし保育園ガラス飛散防止工事	1,254,750円	保育園入所児童の安全確保のため、ガラス飛散防止工事を行った。 工事保育園 福生・すみれ・つくし保育園
32 田園会館育成室移設工事	2,304,660円	学童クラブ(田園クラブ)の待機児童を解消するため、育成室の移設工事を行い、児童の健全育成を図った。 ・工事請負費 1,501,500円 ・備品購入費 803,160円
33 田園会館便所改良工事	1,848,000円	便所の老朽化と学童クラブ(田園クラブ)の入所児童の増により、施設整備に努めた。
34 熊川児童館自転車置場屋根設置工事	1,248,555円	自転車駐輪場に屋根を設置することにより、施設の充実及び利用者の利便性の向上を図った。
35 熊川児童館駐車場門扉設置工事	1,218,945円	駐車場に門扉を設置することにより防犯上の施設整備に努めた。

(3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合負担金及び補助金	224,292,845円	平成13年4月1日から公立福生病院として、休日夜間における救急医療を実施し、高度医療機器新規導入による検査、治療の充実を図り、良質な医療の提供に努めた。 また、公立福生病院基本構想策定審議会を設置した。
2 高齢者歯科健康診査事業	1,588,102円	高齢者に対し、健康の保持や、食べる楽しみに欠かせない歯の健康についての認識を高め、健康寿命の延伸を図ることを目的に、福生市歯科医師会に事業を委託し実施した。 ・対象者 65歳以上の市民 ・実施期間 平成13年9月1日から10月31日 ・場所 市内各指定歯科医院 ・受診者 外来 146人 訪問 6人

事業名等	事業費	内容と成果
3 母子保健指導 教育用教材購入	216,300円	<p>1 妊娠シュミレーター 母親学級、両親学級、健康まつり等で使用し、擬似妊婦をリアルに体験させることにより、妊婦を理解し、妊婦に対する思いやりを啓発し、“親になるということ”の自覚を促した。 (176,400円)</p> <p>2 胎児・胎盤モデル・骨盤モデル 母親学級、両親学級等で使用し、子宮のなかで胎児がどのように発育し出産するのかをモデルを使いながら説明し、その仕組みを知ることによって出産に対する不安を解消した。 (39,900円)</p>
4 高齢者 インフルエンザ 予防接種委託	3,410,300円	<p>高齢者におけるインフルエンザの発生及び重症化を防止することを目的に福生市医師会・西多摩医師会に事業を委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 平成13年11月20日から12月28日 ・場 所 市内各医療機関等 ・接種対象者 8,626人 ・接種済者 1,455人 ・接種率 16.9%
5 福生市環境物品等 の調達に関する 基本方針（グリーン 購入）の策定	自庁印刷で作成	国等による環境物品等の調達に関する法律の規定に基づき、総合的かつ計画的に環境に配慮した物品の調達を推進するよう基本事項を定め、各課に周知を促した。
6 航空機騒音 測定器購入	4,924,500円	市役所屋上の騒音測定器が設置後10年が経過したことに伴い、新たな測定器を購入したことにより、飛行機の航跡の確認ができ、机上でのデータの取得が可能となり事務の効率化を図った。
7 福生駅西口公衆 便所内装改良工事	4,399,500円	老朽化した施設を、障害者や小さな子供を連れた方にも利用しやすいように改良工事を実施した。
8 剪定枝堆肥化 処理委託	175,140円	粗大ごみとして収集した剪定枝をシルバー人材センターの堆肥化処理事業（破碎処理場に破碎→発酵→堆肥）に委託し、ごみ減量、リサイクルを図った。
9 リサイクルセンター 周辺地域環境 整備事業	78,808,712円	福生市リサイクルセンターの建替えに際し締結した「福生市不燃物中間処理施設建替に関する協定書」に基づき、立川市中里自治会が実施した環境整備事業に対し、補助金を交付した。

事業名等	事業費	内容と成果
10 ごみ減量対策事業	30,543,303円	<p>家庭及び事業所ごみ収集の有料化実施にあたって、市民への啓発に必要な清掃だよりの印刷、配布等、及び実施に必要な指定袋の製造委託、廃棄物処理手数料収納事務の委託並びに収納管理システムの購入等を行い、家庭及び事業所ごみ有料化の準備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料化説明会 72会場 3,534人参加 ・マイバッグ配布 12,000枚購入 8,177,400円 ・指定袋製造等委託料 7,134,293円 ・製造実績 <ul style="list-style-type: none"> 可燃 ミニ袋 67,000枚 小袋 151,000枚 中袋 207,000枚 大袋 164,500枚 不燃 ミニ袋 67,000枚 小袋 151,000枚 中袋 207,000枚 大袋 164,500枚 ・指定収集袋取扱店 80店舗 ・廃棄物処理手数料収納事務委託料 3,832,928円 ・収納管理システム購入費 5,775,000円 ・収納管理システム保守委託料 141,330円 ・パートタイマー 295,200円 ・その他消耗品 3,565,243円 ・印刷製本費 396,270円 ・手数料 243,357円 ・使用料 1,800円 ・その他備品等 241,395円 ・その他啓発等 505,470円 ・清掃だより配布委託料 233,617円

(4) 農林水産業費

事業名等	事業費	内容と成果
1 草花苗の生産委託	6,540,000円	<p>市内農家に毎年委託している草花苗の生産数を増やし、農業振興及び農地の保全を図った。</p> <p>春 サルビア (11,000株→15,000株) マリーゴールド (13,000株→16,000株)</p> <p>秋 パンジー (25,000株) 葉ボタン (9,000株)</p>
2 花いっぱい運動事業	123,749円	<p>花の苗の植栽を希望する町会や商栄会等に苗を無料配布し、多くの市民が植栽に参加することにより、花や緑を大切に市民意識の高揚を図った。</p>

(5) 商 工 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 西多摩地域広域 行政圏協議会 入込観光客数 調査負担金	430,000円	西多摩地域の観光振興等において、西多摩地域内の各観光地を結ぶ テーマ別観光ルートを開発するために、各観光地等で観光客の状況等 の入込み調査を実施した。
2 福生市商工会補助金	26,104,000円	商工会の管理運営上必要な人件費及び事業費の補助を行ない、商工 業振興に寄与した。 なお、事業費の中で本年度は、魅力的で特色ある商店街づくりを目 指すため、福生駅西口駅前広場のイルミネーション事業に対し、新た に補助金を交付した。 交付額 3,000,000円 また、同時多発テロの影響により、急きよ中止となったインポート フェアに代り、国道16号沿い商店街緊急支援対策事業として実施し た「元気だぜ！YOKOTA基地前商店街クリスマスビックセール」 に対し、補助金を交付し、顧客の呼び戻しに寄与した。 交付額 1,072,000円
3 商業施設等補助金 「福生商店街協同 組合（仮称）生鮮 市場建設工事」	17,315,000円	福生商店街協同組合が行なう生鮮市場建設工事に対し、補助金を交 付した。この生鮮市場のオープンにより、顧客が増加し、商店街全体 の活性化を図った。 所在地 福生市大字福生767-1外 敷地面積 765.6㎡ 構造規模 鉄骨造 地上1階 建築面積599㎡ 店舗面積355㎡
4 消費生活情報 体制整備事業	891,000円	国の整備事業により東京都並びに国民生活センターの消費者相談、 商品テスト等のデータベースにアクセスできる環境を整えた。このこ とにより、消費者からの苦情、相談に適切かつ迅速な対応ができるよ うになった。

(6) 土 木 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 図面用複写機借上	866,002円	耐用年数が過ぎた図面用複写機を、新しい機能が付加された複写 機に借り替えることにより、大幅な事務の効率化を図った。
2 道路管理システム の 導 入	13,905,885円	道路管理システムを導入することにより、道路台帳・道路境界確 定図・交通安全施設等の管理一元化が可能となり、事務の効率化を 図った。 ・道路データ入力委託料 12,180,000円 ・道路管理システムプログラム使用料 1,039,500円 ・道路管理システム電算機借上料 343,665円 ・電算機保守委託料 342,720円

事業名等	事業費	内容と成果
3 道路新設改良事業	110,692,910円	1 市道幹線Ⅱ-10号線改良事業費 79,886,100円 商店街のイメージアップ及び活性化を図ることを目的として、市道幹線Ⅱ-10号線（銀座通り）のうち、銀座中央商栄会の区間について改良工事を実施した。 ・土地測量委託料 1,533,000円 ・工事請負費 78,353,100円 延長 312.0m、幅員 6.0m（車道部3.0m、路肩部3.0m） 面積 1,560.2㎡（車道部723.8㎡、路肩部836.4㎡） 2 市道幹線Ⅱ-12号線外2改良事業費 21,794,850円 交通の円滑化及び安全を図ることを目的として、原ヶ谷戸第二交差点に市道幹線Ⅱ-12号線（図書館通り）を取り付ける交差点改良工事を実施した。 ・土地測量委託料 1,761,900円 ・工事請負費 20,032,950円 延長 105.2m、幅員 6.0m～10.5m、面積 1,272.7㎡ 3 市道第1199号線改良事業費 9,011,960円 地域住民の生活環境の向上を図ることを目的として、狭あい道路の拡幅整備を実施した。 ・用地取得面積 24.07㎡ ・用地買収費 4,814,000円 ・家屋及び工作物等補償料 2,943,210円 ・土地測量委託料等 393,750円 ・工事請負費 861,000円 延長 52.4m、幅員 2.4m～3.2m、面積 146.5㎡
4 橋りょう耐震 診断委託	4,935,000円	玉川上水に架かる9橋と、横断歩道橋1橋の合計10橋について、耐震補強の調査を実施した。
5 緊急道路整備事業	24,755,850円	1 熊川・松原線調査委託 7,507,500円 拝島駅に自由通路を設置するために、整備実現に向けての課題を整理することを目的とし、基礎調査を実施した。 2 市道幹線Ⅰ-1号線舗装補修事業費 17,248,350円 車両等の交通安全を図ることを目的として、道路の舗装補修工事を実施した。 ・設計委託料 1,312,500円 ・工事請負費 15,935,850円 延長 420.4m、幅員 8.0m、面積 2,963.0㎡
6 福生駅西口 市営駐車場（仮称） 新設事業	240,300,122円	本年度は、福生市土地開発公社から福生市本町92番1の土地を買収した。 ・土地鑑定委託料 867,300円 ・用地買収費 239,432,822円 ・買収用地面積 424.07㎡
7 牛浜駅前地区優良 建築物等整備事業	18,400,000円	民間活力による、市街地環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するための土地利用の共同化・高度化等に寄与する優良建築物等整備事業について補助を行った。 ・補助金額 18,400,000円 ・補助内容 地盤調査、建築実施設計、建物除却・整地

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
8 都市計画道路線形図作成委託	2,940,000円	福生都市計画道路3・4・7号線(通称富士見通り)の計画路線に対し、建築申請等の指導をより円滑に行なえるよう、計画の線形を数値情報による管理で行うことを目的とした測量委託を実施した。 本年度は、前年度決定した線形図を福生市公共基準点の座標値を基にした1/250の地形図に記入し、都市計画線形図を作成した。
9 彫刻モニュメント等標識板設置工事	787,500円	市内に設置されている彫刻モニュメント等に作品内容を明示する標識板を設置することにより市民要望に応えた。 (10箇所を設置)
10 都市計画道路3・4・31号線(柳通り)整備事業	420,289,784円 内訳 不動産鑑定委託料 961,800円 土地評価書作成委託料 155,400円 測量委託料 6,825,000円 道路詳細設計委託料 1,848,000円 分筆登記申請委託料 163,400円 土質調査委託料 682,500円 用地買収費 344,160,906円 補償・補填及び賠償金 65,390,695円 事務費等 102,083円	東京都では、本路線を平成8年3月に策定した「多摩地域都市計画道路の第二次事業化計画」の前期事業化予定路線と市施行の位置付けをし、平成17年度を目途に完成すべき路線とした。 このことにより本路線は、近年交通量が増加しており、また幅員も狭く歩道もなく危険な状況にある。よって、歩行者等の安全と歩行空間を確保するため、平成12年度に着手し、平成17年度完成を目途にしている。 1 委託 (1) 不動産鑑定委託 一式 (2) 土地評価書作成委託 一式 (3) 測量委託 一式 (4) 道路詳細設計委託 一式 (5) 分筆登記申請委託 一式 (6) 土質調査委託 一式 2 用地買収面積 915.91 m ² 3 東京都市町村土木補助額 117,486,000円
11 田園西土地区画整理事業	137,248,357円 内訳 業務委託料 136,976,957円 事務費等 271,400円	(財)東京都新都市建設公社に業務を委託し、権利者及び関係機関との協議を行うとともに、区画道路の築造を行った。更に仮換地の指定を行い、工作物等の移転補償を行った。 (工事内容) 区画道路築造 ・幅員 6.0m 延長 346.5m
12 多摩川中央公園眺望案内板設置工事	1,627,500円	眺望案内板を設置し、本公園より眺望できる奥多摩の山々を市民に親しんでもらえるように整備した。
13 福生公園管理柵改修工事	3,864,000円	ネットフェンスが、老朽化したのでこれを改修し、併せて隣接地との段差に擁壁を設置し、土砂の流失を解消した。
14 福生柳山公園整備事業	25,509,500円	老朽化した公園施設等を高齢者や障害者の方にも利用しやすいように整備(改良)工事を実施した。 ・実施設計委託料 2,152,500円 ・工事請負費 23,357,000円

事業名等	事業費	内容と成果
15 加美平南公園 整備事業	23,047,500円	本公園は、区画整理により設置した公園で年数が経過し、老朽化したため、整備工事を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計委託料 2,047,500円 ・工事請負費 21,000,000円
16 下の川緑地(仮称) 新設事業	721,922,268円	市民の憩いの場の創造と緑の保全を目的とし、本年度は、福生市大字熊川字牛浜1043番地6外8筆の土地の面積5,171.65㎡の用地買収を行った。 また、陸橋通り～清水坂までの債務負担工事(H13～14年度)を発注した。 <ul style="list-style-type: none"> ・土地鑑定委託料 2,286,900円 ・監理委託料 540,540円 全体(H13～14年度) 2,310,000円 ・工事請負費 28,488,000円 全体(H13～14年度) 113,400,000円 ・用地買収費 690,478,288円 ・事務費等 128,540円

(7) 消防費

事業名等	事業費	内容と成果
1 消防団員証作成	125,773円	消防団員の身分証明書として顔写真入りのIDカードを作成し、危機管理の強化を図った。
2 総合水防演習	206,789円	集中豪雨及び河川氾濫等を想定した演習を実施し、水防部隊の効果的運用と実践的な活動技術の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・看板、土のう袋、訓練用砂等の購入
3 避難所用備蓄倉庫 の設置	1,732,500円	指定避難所である中央体育館に備蓄倉庫を設置し、避難所運営に必要な備品を配備した。 <ul style="list-style-type: none"> ・1基 ・サイズ：6,420mm×2,200mm×2,420mm ステンレス加工、断熱材使用
4 災害備蓄品配備	4,226,754円	災害時に備え、食糧と備品の配備をした。 食糧 2,558,850円 <ul style="list-style-type: none"> ・乾パン 3,000缶 ・アルファ米 5,000食 ・乾燥おかゆ 1,000食 ・サバイバルフーズ 2,400食 備品 1,667,904円 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所用救急箱(中央体育館) 1セット ・避難所用発電機セット(中央体育館) 1組 ・災害用簡易ベッド 5セット ・担架 2台

事業名等	事業費	内容と成果
5 災害対応職員 マニュアル作成	自庁印刷で作成	<p>災害から市民の生命・財産を保護するとともに二次的災害を防止するため、各種災害の有事の際に職員が迅速で的確な行動ができるよう災害対応職員マニュアルを作成し、全職員に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応職員マニュアルの内訳 <ol style="list-style-type: none"> 1 震災対応 2 風水害等（気象災害）対応 3 航空機事故対応 4 テロ災害対応
6 耐震性貯水槽 新設事業	19,659,150円	<p>災害時の水利確保のため耐震性貯水槽を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 福生市大字福生 1974-13 外 ・規模 100 m³級鋼製耐震性貯水槽 ・設計委託料 1,396,500円 ・監理委託料 605,850円 ・工事請負費 17,535,000円 ・家屋及び 工作物等補償料 121,800円

(8) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 小学校水泳指導 補助員報償金	489,000円	<p>指導補助員配置基準を小学校第3学年以下から第4学年以下に引き上げ、児童の安全管理の充実を図った。</p>
2 記念誌作成補助	1,133,580円	<p>周年事業の記念誌発行に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三小学校 50周年記念誌代 580,125円 ・第六小学校 30周年記念誌代 553,455円
3 小中学校防犯 用品の配備	650,160円	<p>児童・生徒の安全確保のため、各小中学校に防犯用品を配備した。</p> <p>配備用品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯用防犯ブザー 289個 ・ハンドメガホン 30台
4 小中学校パソコン ソフトウェア購入	5,230,604円	<p>導入済みのパソコンに各校新しいソフトウェアを補充し、情報化に対応した学校教育の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2,832,353円 ・中学校 2,398,251円
5 修学旅行等 負担補助金	15,510,900円	<p>小・中学校の修学旅行等に参加した児童・生徒の保護者に補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校移動教室 人員 597人 金額 4,179,000円 ・中学校移動教室 人員 549人 金額 3,513,600円 ・中学校修学旅行 人員 511人 金額 7,818,300円

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
6 新 入 学 生 徒 学 用 品 等 扶 助	3,062,400 円	<p>中学校新入学生徒の保護者負担軽減を図るため、学用品等購入費の一部を援助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 96 人 ・学用品費 2,198,400 円 ・標準服購入費 864,000 円
7 小 中 学 校 非 常 通 報 体 制 整 備 工 事	2,672,250 円	<p>児童、生徒及び教職員等の生命の安全確保のため、各小中学校に緊急事態発生時に非常ボタンを押すだけで警視庁通信司令部に接続する非常通報装置を設置した。</p> <p>工事費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 7 校 1,869,000 円 ・中学校 3 校 803,250 円
8 小 中 学 校 案 内 看 板 設 置 工 事	1,573,950 円	<p>各小中学校の門に案内看板を設置し、訪問時の事務室での受付の徹底と常時閉門の説明と指導について明記し、管理の徹底と学校の安全対策の向上を図った。</p>
9 第 五 小 学 校 事 務 室 移 設 改 良 事 業	892,500 円	<p>事務室を 2 階から 1 階へ移設し、来校者の管理の徹底と不法侵入者の防止を図るとともに玄関のバリアフリー化の実施設計を行った。</p>
10 学 校 給 食 献 立 用 プ ロ グ ラ ム 改 良 事 業	518,952 円	<p>新たな学校給食献立用プログラムを導入することにより、献立の管理が向上し、ネットワークにより第一・第二給食センターの双方のデータが迅速に把握できるようになり事務の効率化を図った。</p>
11 中 学 校 給 食 対 策 (調 査 研 究)	97,380 円	<p>中学校の 1・2 年生及びその保護者を対象に昼食対策について生徒及び保護者が何を求め、どのように考えているかを把握することを目的とするアンケート調査を実施した。</p> <p>その結果、生徒で 74.3%、746 人(回収率 90.9%)、保護者で 87.7%、551 人(回収率 57.8%) から昼食施策を実施してほしいとの回答があった。</p>
12 第 一 ・ 第 二 給 食 セ ン タ ー 耐 震 診 断 委 託	2,835,000 円	<p>災害時の安全を図るために第一・第二給食センター及び事務所の耐震診断を行った。</p> <p>その結果、第一・第二給食センターは耐震性能を有しているとの診断結果であったが、第一給食センター事務所は、補強が必要との診断結果であった。</p>
13 I T 講 習 推 進 事 業	23,246,318 円	<p>パソコン初心者のために操作の仕方、文書作成、メール及びインターネットの仕方等を講習するため初心者パソコン教室を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施コース数 102 コース ・参加人数 延べ 1,819 人
14 子 ども 議 会 (教 育 委 員 会 版) の 実 施	36,000 円	<p>市内各小学校の児童の代表に自分の住んでいる街や学校に対する希望や意見を発言してもらう場として、子ども議会(教育委員会版)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加児童数 18 人 ・場 所 市議会議場
15 収 蔵 資 料 情 報 提 供 用 端 末 機 借 上	707,000 円	<p>郷土資料室に来室した方に、展示している資料以外の収蔵資料の画像やデータが見られるように情報提供用端末機を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料数 約 1,000 件(新資料随時追加)

事業名等	事業費	内容と成果
16 市民会館 耐震診断委託	11,340,000円	福生市既存建築物耐震改修促進実施計画に基づき耐震診断を行った。 診断の結果、Aランクに認定されたが、補強を要する箇所があった。
17 市民会館地下等 便所改修工事	987,000円	市民会館利用者の利便性向上を図るため、和式便器から洋式便器への改修工事を実施した。 ・市民会館地下楽屋便所 男子1箇所 女子1箇所 ・2階及び3階の男子便所 2箇所 計4箇所
18 市民会館小ホール 舞台音響照明設備 改良事業	113,875,989円	昭和52年の開館から24年が経過し、舞台音響設備及び照明設備が全体にわたり老朽化したため、改良することにより施設の維持・管理に努めた。 内訳 ・設計委託料 3,885,000円 ・監理委託料 2,593,500円 ・工事請負費 107,310,000円 ・事務費等 87,489円
19 市民会館大ホール 舞台機構改良事業	52,468,500円	昭和52年の開館から24年が経過し舞台機構の安全性向上及び事故防止のため舞台吊り物の滑車、ワイヤー等の交換を実施した。 内訳 ・設計委託料 1,942,500円 ・監理委託料 1,491,000円 ・工事請負費 49,035,000円
20 図書館電算機 システム改良委託	10,801,560円	電算システムの改良を行い、レスポンスの向上、インターネット対応等の改善を図った。
21 図書館ホームページ 開設と蔵書データの 開放等	2,799,000円	図書館ホームページを開設し、図書館の利用案内、開館日カレンダーなどのお知らせと蔵書データの開放を行った。 この結果、いつでもどこからでも図書館の所蔵情報を知ることができるようになった。
22 白梅会館 耐震診断委託	1,575,000円	福生市既存建築物耐震改修促進実施計画に基づき耐震診断を行った。 診断の結果、Aランクに認定され、耐震性能は特に問題ないとの報告があった。
23 わかぎり会館 耐震診断委託	1,627,500円	福生市既存建築物耐震改修促進実施計画に基づき耐震診断を行った。 診断の結果、Aランクに認定され、耐震性能は特に問題ないとの報告があった。
24 わかたけ会館 耐震診断委託	1,575,000円	福生市既存建築物耐震改修促進実施計画に基づき耐震診断を行った。 診断の結果、Aランクに認定され、耐震性能は特に問題ないとの報告があった。

事業名等	事業費	内容と成果
25 かえで会館 耐震診断委託	1,522,500円	福生市既存建築物耐震改修促進実施計画に基づき耐震診断を行った。 診断の結果、Aランクに認定され、耐震性能は特に問題ないとの報告があった。
26 加美平野球場 整備工事	5,700,000円	内野部分の地面等の改良工事を行い、利用者の利便と危険防止に努めた。
27 市営プールプール サイド等改良工事	28,030,800円	25mプール、幼児用プール及びスライダープールのプールサイドと壁面、底面の改良工事を行い、利用者の利便と施設整備に努めた。

(9) 諸支出金

事業名等	事業費	内容と成果
都市計画道路(柳通り) 代替用地取得事業	610,857,465円	都市計画道路3・4・31号線(柳通り)整備事業代替用地として、福生市土地開発公社から福生市大字福生字奈賀781番1外1筆の土地を買収した。 <ul style="list-style-type: none"> ・土地鑑定委託料 1,514,100円 ・用地買収費 609,343,365円 ・買収用地面積 1,562.13㎡

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者 療養給付費給付	1,651,129,010円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般被保険者一人当たり費用額 126,892円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 105,194円 ・受診率 932.44% ・1件当たり費用額 16,396円
2 退職被保険者等 療養給付費給付	680,489,261円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・退職被保険者等一人当たり費用額 295,229円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 260,824円 ・受診率 1,931.66% ・1件当たり費用額 17,750円
3 一般被保険者 療養費支給	26,996,416円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般被保険者一人当たり費用額 2,458円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 1,720円 ・支給件数 3,393件 ・1件当たり費用額 7,957円

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
4 退職被保険者等 療養費支給	12,367,226円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 6,188円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 4,740円 ・支給件数 934件 ・1件当たり費用額 13,241円
5 一般被保険者 高額療養費支給	176,975,532円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が63,600円（低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 1,739件 ・1件当たり費用額 101,769円
6 退職被保険者等 高額療養費支給	34,463,505円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が63,600円（低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。 ・支給件数 414件 ・1件当たり費用額 83,245円
7 出 産 育 児 一 時 金 支 給	42,000,000円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 140件 ・1件当たり支給額 300,000円
8 葬 祭 費 支 給	7,530,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 251件 ・1件当たり支給額 30,000円
9 結核・精神医療 給付金支給	2,392,012円	被保険者が、「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に生じた自己負担額（高額療養費を含む。）を支給した。 ・支給件数 3,046件 ・1件当たり支給額 785円
10 老人保健拠出金	1,064,197,791円	老人保健法による被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、医療費、事業費及び事務費を拠出した。 ・医療費拠出金 1,049,648,479円 ・事務費拠出金 14,549,312円
11 介 護 納 付 金	221,397,900円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 32,425円×6,828人
12 高 額 療 養 費 資 金 貸 付	21,457,650円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 112件 ・貸付金額 21,457,650円 ・費用額 71,225,853円

事業名等	事業費	内容と成果
13 保養施設宿泊費補助	312,000円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 106人

3 老人保健医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
老人医療給付	3,424,453,164円	70歳以上(寝たきり状態等の人)は65歳以上)の人を対象に医療給付を行った。

4 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護サービス等給付	1,443,696,223円	要介護認定を受けた被保険者に対して、介護サービスを給付した。
2 支援サービス等給付	27,376,047円	要支援認定を受けた被保険者に対して、支援サービスを給付した。
3 審査・支払事務委託	2,361,158円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査及び支払事務を東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
4 高額介護サービス費支給	9,033,797円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が、利用者負担上限額を超えた分について高額介護サービス費を支給した。
5 主治医意見書作成依頼	6,915,065円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、主治医等に主治医意見書の作成の依頼を行った。
6 要介護認定調査委託	2,771,265円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、介護保険施設及び指定居宅介護支援事業者等に要介護認定(訪問)調査を委託し、事務の効率化を図った。
7 認定調査嘱託職員報酬	1,524,000円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために嘱託職員を採用し、市民に公平に要介護認定(訪問)調査を実施し、事務の効率化を図った。

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 下水道管理システム導入	6,468,000円	<p>下水道管理システムの導入により台帳管理等が電子化することにより、図面と調書の整合性が向上し、管理状況をより正確に把握することが可能となり事務の効率化を図った。</p> <p>また、今後想定される管渠の老朽化に対する改築計画策定にも有効となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道データ入力委託料 6,405,000円 ・下水道台帳管理システム保守委託料 63,000円
2 多摩川上流流域下水道建設事業負担金	109,758,376円	東京都の流域下水道事業を効率的に運営するため、関係市町とともに経費の負担を行った。

6 受託水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 配水管新設	45,501,120円	<p>配水小管新設及び改良工事により管路の拡充を行い、配水小管網の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管径 $\phi 75\text{ mm} \sim 200\text{ mm}$ ・延長 778.4m
2 配水管移設等	185,703,420円	<p>道路工事及び下水道工事等に関連する配水管移設、布設替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管径 $\phi 75\text{ mm} \sim 350\text{ mm}$ ・延長 2,022.1m